

就労移行支援施設で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成施設である「視力障害者福祉センター」ってどんな事を学ぶの？

少しでも知っていただくために、授業科目の解説の企画を再開しました。これから学んでみたい方々の参考になればうれしいです。



授業を受け持つ教員に、どんな科目か尋ねてみました

☆その 7 生体観察 (せいたいかんさつ)



基本的な質問ですが、実技ですか、座学ですか。



生体観察は、実技試験週間に触察と口頭試問の試験を行いますので、実技ですか座学ですかと聞かれれば**実技扱い**になると思います。

授業は拡大読書器を使いたい生徒さんがおられる時は、**前半、教室で筋の起始停止**や関係する経穴などを、テキストを読みながら確認した後、**後半、実習室**に移動して**触察**しています。教室で触察できる部位ならそのまま教室で触察してしまったりすることもあります。また、拡大読書器が必要ないクラスの場合、最初から実習室に集合してもらって、その都度触察しながら進める年もあります。



科目として 1 年間で修了しますか。

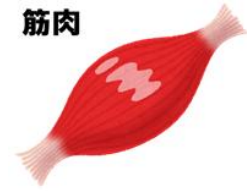


修了します。



主にどのような内容ですか。

筋肉



メインは**筋の触察**とその**筋に関連する経穴を取穴**できるようになることです。筋の解剖も経穴も1年生の時に座学で勉強した内容ですから、**3年生の生体**

観察で両方の復習ができるわけです。筋の触察のためには**骨のランドマーク**をしっかりと触れることが必要ですので**骨の復習**にもなります。

また時間数は少ないですが、**臨床医学総論**や**リハビリテーション概論**で学習する**関節可動域**や**身体計測**を実際にやってみるので、それらの**復習**にもなります。



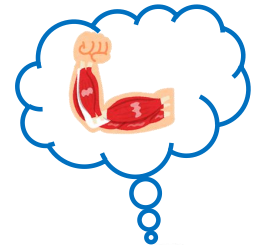
あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう全般に関わる科目ですか



どちらにも関わる科目です。



体得する **ポイント** は。



自分で触れる部位は、筋の名前や腱の**名前**など**何回も言いながら触って**、臨床の患者さんを揉む時も凝っている**筋の名前を思い出しながら揉む**ようにするとい

いと思います。



(編集担当 市田)